

八軒つうしん



巻頭言

今年「総会」の年

会長 菅井 茂



年末の総選挙で、政権が交替し、デフレ脱却を掲げて安倍首相が登場しました。政策が何も

まだ決まっていないのに、「デフレ脱却」という言葉だけで円安となり株価は上昇しています。これは新政権への期待の現れでしょうが、この「八軒つうしん」が会員の皆様に届くころには日本経済はどうなっているでしょうか。

さて、今年「総会」の年に当たりますので、六月二十九日(土)に前回と同じ会場「ホテル レオパレス仙台」で総会開催を予定しています。前回は百名を超す会員の方々にご出席をいただき、盛大に

催すことが出来ました。今回も前回以上の多くの方にご出席いただけるよう、準備委員会を設け一月に発足致しました。今回の当番学年は二十回生・二十一回生・二十二回生です。よろしくお願い致します。総会が楽しい会になるよう会員の皆さんからアイデアを募集しています。「こういうことをしてほしい」というようなことがあれば、事務局に是非ご一報ください。

ところで、八軒中学校では昨年三月に菅原敏彦校長・山脇豊勝教頭らをお送りし、四月に新しく小松尚哉校長・千葉伸治教頭らを迎えスタートしました。生徒たちは現在落ち着いた雰囲気です。特に吹奏楽部は全国大会に出場し「銀賞」に輝きました。また剣道部は県中学校総合体育大会で団体・個人とも準優勝し東北大会に出場しました。個人では石田宏平君が全国大会に出場しベスト十六に入りました。放送部も朗読の部と

アナウンスの部で全国大会に出場しました。勉強分野では、今年から高校入学試験の制度が変わり大変だと思えますが是非それぞれの希望する高校に進学できるよう頑張ってくださいと思います。

また、六月から昭和五十年代後半から六十年代にかけて八軒中学校に奉職された布施俊雄先生(体育・バレー部顧問)が、八軒中学校にボランティアで清掃に見えています。



生徒昇降口にある校訓碑

布施先生は「自分が育てられた八軒中学校に少しでも恩返しをしたいから」と仰って校訓碑の周辺を清掃され、朝のあいさつ運動にも参加されております。布施先生に教わった会員の方は、是非先生と一緒に中学校の清掃をしません

か。生活環境がきれいで落ち着いていれば、生徒達も爽やかな気持ちでまた穏やかな気持ちで生活が出来ると思えます。

代表幹事会開催

活動状況を報告

第一回代表幹事会は、平成二十四年二月二十五日、八軒中多目的ホールにおいて、開催されました(次回総会までの二年間を一期として、その期間中を通算してカウントします)。

菅井会長をはじめとした同窓会役員、事務局のほか、八軒中から同窓会担当の坂田三郎先生、渡邊貴之先生、遠藤栄相談役、六回生、十回生、二十回生に参加いただきました。

菅井会長の挨拶の後、坂田先生から、最近の母校の様子についてお話がありました。

(二頁へ続く)

(一頁からの続き)

続いて、村井雅彦企画次長から総会以後の活動状況について、遠藤泰郎会計次長から会計について、安達和則事務局長、佐藤徳子副会長から二委員会の活動状況について、それぞれ報告がありました。

その後、次回総会にむけて平成二十三年九月二十五日に開催された総会について感想や反省点が出されました。終了後は、河原町の「末広寿司」において懇親会が行われました。

次回総会に向けて

平成二十四年九月二十九日、八軒中多目的教室一において、第二回代表幹事会が開催されました。

菅井会長をはじめとした同窓会役員、事務局、同窓会参与である八軒中小松尚哉校長先生、千葉伸治教頭先生、同窓会担当の渡邊貴之先生ほか、三回生、十五回生に参加いただきました。

菅井会長の挨拶の後、小松校長先生から、最近の母校の様子についてお話がありました。

第一回代表幹事会以降の活動状況、会計、二委員会についてそれぞれ報告の後、次回総会の日時、会場、内容について協議が行われました。

その結果、次回総会は平成二十五年六月二十九日(土)に開催、役員、事務局、当番学年で構成する準備委員会を発足させ、詳細について検討していくこととなりました。

終了後は、会場を河原町の「つぎだてや」移して、恒例の懇親会が行われました。ちょうど里帰り中だったイタリア・ミラノ在住の音楽家(藤原歌劇団所属)・牛坂洋美さん(第二十回生)が特別参加したほか、五回生、十回生の幹事が加わり、時間的制約から代表幹事会の中では出しきれな



かった各期の動きについて交流しました。

「二委員会の動き

「生徒の生活環境を

考える」委員会

副会長・委員長

菅原 敏之

今年度は、八軒中の健全育成の取り組みと連携して活動を行いました。

「児童生徒による故郷復興プロジェクト第三弾」に参加しました。

このプロジェクトは、仙台市立学校が一斉に実施し、震災復興に向けて環境整備活動やあいさつ運動を通して、児童生徒に愛校心や郷土愛を育み、共に助け合う気持ちや地域の力となる態度を養うことを目的としています。

平成二十四年十一月十五日、七時四十分～九時三十分、地域清掃、あいさつ運動が取り組ま

れたほか、八軒中学校体育館においてセレモニーが行なわれ、同窓会から菅井茂会長、佐藤徳子副会長、安達和則事務局長が参加しました。

菅井会長は「地域の方からの言葉」として、生徒が避難所支援を行った話題などを話し、今後の活動を励ましました。

「少年を非行から守るパイロット地区」指定に伴う八軒中学校区健全育成協議会による講演会に、同窓会から菅井会長が参加しました。

講演会は、宮城県迫桜高校の津花優校長先生を講師に、「ネット被害の現状とその対策についてー将来を担う青少年の健全育成のためにー」と題して、平成二十四年十二月一日、午後一時から八軒中学校北校舎において開催されました。

学校裏サイト、サイバー犯罪、ケータイの危険性、ネット監視、情報モラルなど親の知らない世界で、いろいろな危険が起こっており、啓発活動が必要であるとのことでした。

「私の八軒時代」

編集委員会

副会長・委員長

佐藤 徳子

「私の八軒時代」は、前回総会に合わせて第一集を発刊しましたが、来る平成二十五年六月二十九日に開催される総会において第二集の発刊を予定しています。

「八軒中」を同じ学び舎として卒業した同窓生の皆さんで、それぞれ「あの時代」に思いを馳せ、恩師や友を懐かしく書き綴ってみませんか。八軒中の歴史が紡がれていきます。

また、今回は特別企画として、「東日本大震災」にかかわる原稿も募集しています。

まもなく丸二年を迎えようとしている「東日本大震災」ですが、「復興」というのは名ばかりで、先が見えない不安定な生活が続いている方々が少なくありません。被災された同窓生の皆様も、まだまだ落ち着かないのではないのでしょうか。時々思

い出したようにやや強い地震があり、また大きな地震が来るのではないかという不安は拭えません。

突如としてそれぞれの日常生活を奪った震災。言いようのない悔しさに涙しながらも、人の優しさ、支え、励まし合いで何とか今日まで過ごされたのではないのでしょうか。

記憶をたどり、気持ちを整理しながら、思いを書き綴ることです。「震災」という人生の山を乗り越え、一歩一歩進むうではありませんか。「人はひとりではない。」第二集はそんな思いを形にしたいと考えています。

原稿の締め切りは、何度か延長し、現在のところ平成二十五年三月末です。皆様の玉稿をお待ちしております。

第一集と同様、第二集も一冊二百円以上のお気持ちで販売します。個人はもとより、同期会開催に合わせた一括購入も大歓迎です。お申し込みをお待ちしております(第一集も在庫があります)。

お申込み、お問い合わせは、広報部・直野(〇九〇―一九三八六一―七四六)まで。

総会準備委員会始動

第二回代表幹事会での決定を受け、平成二十五年一月二十六日、八軒中多目的教室一において、第一回総会準備委員会が開催されました。

確定した日程を基に、会場、タイムスケジュール、会費の額、徴収方法、広報手段などについて検討がなされました。

その結果、日時、会場等は次のとおりとなりました。

一. 日時

平成二十五年六月二十九日 (土)

午後二時〜五時半

二. 会場 レオパレス仙台

三. 会費

五千円(学生は半額)

準備委員会は、総会までにあと三回開催し、第二回は三月二日の第三回代表幹事会に合わせ行うことが確認されました。

新しい仲間を迎えて

平成二十四年三月九日、平成二十三年度(第六十五回)八軒中同窓会入会式が行われ、男子八十六名、女子八十八名の計百七十四名を新たに同窓会に迎えました。

先輩の講話として、第十九回生の小林正一さん(仙台市若林消防団副団長)から、東日本大震災において消防団が果たした役割についてお話いただきました。



前回総会の様子

懐かしく、楽しく



母校を訪問

校長先生を囲んで

第三回生(昭和二十五年卒)

三回生は、卒業以来六十数年を経過しましたが、今でも中学時代を懐しみ、小グループで集まって懇親を深めております。

今回は、母校を訪問しクラブ活動の様子や、校舎、普通学した街並み等を見たいとの提案が白石の八島忠賢君からあり、希望者を募集したところ二十三名の参加がありました。

学校の了解を得て平成二十四年六月二十五日の午後、千葉伸治教頭先生の案内で一階から三階までの廊下や教室、校庭、武道館とまわり、前期の期末試験が終了したばかりなのに、生徒

は皆、真剣に部活に励んでおりました。

ブラスバンド部の生徒は、一人ずつ、長い廊下にはなれて大小様々な楽器に取り組んでおり、新体操部員は車座になっての基本訓練や、剣道では、上段の構えから気合の入った打込み、バトミンントンの鋭いサーブやスマッシュ等、我々の時代には無かった種目に汗を流しながら真剣に格闘している姿を見て、自分達の中学時代と重ねて思いを深め、隔世の感を覚ええました。

見学終了後には、河原町の末広寿司で懐かしい話に花を咲かせ、母校の名を全国に広めたCDのボリュームを上げて、「あすという日が」と「しあわせ運べるように」を皆で合唱し、むずかしいな、と言いながら元気な姿での再会を約束して散会しました。

(高橋 公二)

第五回生(昭和二十七年卒)

我々の喜寿の集い

我々の母校は南材小・八軒中です。同期生は昭和十一年四月

二日から十二年四月一日までに生まれた方々です。喜寿を祝う会をやるうと発案したのは、平成二十三年秋、ナンバー・ワンというグループでした。広く同志を募り、男女二十名ほどの準備会を立ち上げたのがスタートでした。

実行委員長には針生雄吉様を推戴し、通算十二回の会合を持つてから、広報、連絡、案内の郵送を経て実現にこぎつけました。

開催日時は二十四年十月十七日(水)十一時より、場所は江陽ランドホテルの「鴛(おしどり)の間」、参加者は女性三十一名・男性三十二名の六十三名でした。

会場には思い出多い南材小・八軒中時代の写真、記事、それに都合で欠席された同級生のコメントも多数掲示され、とても賑やかで温かい雰囲気包まれました。加えて南材小・八軒中の近況報告もあり、各々に懐かしさと親近感に浸りました。

お世話になった恩師の方々は老年につき、同期会の席上に招

待しませんでした。それでも楽しい、賑やかな二時間でした。我々は、これまで還暦の集い、珍しく六十五歳の集い、それに古稀を祝う集いと三回も楽しい集いを実施した経験を参考に開催しただけに、多くの参加者が満足された同期会であつただろうと胸をなでおろしております。

参加者で一番遠い所から駆けつけてきてくれた方はニューヨークに居住しており、北は北海道、南は九州からと馳せ参じてくれました。参加者の話題の多くは、予想どおり「健康について」の各人の意見の交換だったようです。食物、飲物、運動、楽しみ、睡眠等々。

最後に、母校の校歌を斉唱し、有志の音頭により母校の栄誉と繁栄を祈念して声高らかに「エール」を贈って閉会いたしました。

閉会後は、クラス、グループ毎に別れを惜しんで小集会を持ち合い、余韻を楽しんでおりました。

(早坂 一夫)

第十一回生(昭和三十三年卒)

昭和三十三年三月卒の十一回生は、平成二十四年、めでたく古稀を迎えました。

この十一回生には、仙台地区を中心とした「はちのき会」(会員三十二人・庄子春吉会長)と関東地区を中心とした関東八軒会(会員二十人・赤間和彦会長)があります。

十一回生は三年に一回同期会を開催していますが、その他にもこの二つの会は、毎年合同で旅行を楽しんでおります。

過去には修学旅行で行った江ノ島方面に、また熱海の冬の火花や、ある時は信州方面にも貸切バスで行きました。



「はちのき会」&「関東八軒会」

平成二十四年は、長野市を起点として二十名(仙台九、関東

十一)が貸切バスで二泊三日、木曾・飛騨高山・金沢方面へ。木曾妻籠宿く馬籠宿く昼神温泉く高山市内の屋台会館く白川郷く兼六園く東茶屋街散策と楽しんできました。

平成二十五年は北海道への旅行が企画されております。この会の旅行は、ひよっとしたら、腰が曲がり、杖をつくようになっても続くような気がします。

(齋藤 紀江子)

第十七回生(昭和二十九年卒)

四ツ葉三九会第五回総会及び懇親会は、平成二十四年十一月十八日(日)、午後一時からレオパレス仙台にて開催されました。三十二名の参加者があり、総会では、女性の新副会長と新幹事の紹介がありました。また、六十名以上の同期生から協礼金千円を頂いた旨の報告がありました。

懇親会では、生徒会誌「よつば」から我々の卒業一言一句集を再編集して配布されました。みんな自分が書いたことを忘れていたようです。また、オペラ

歌手と共に歌う場面もあり、とても楽しかったです。

平成二十五年は、六十五歳を迎える人もいるので、多くに呼びかけて九月に開催予定です。

(安達 和則)

第十九回生(昭和四十一年卒)

「八軒四一四ツ葉会」は、平成二十四年九月十六日(日曜日)、仙台サンプラザ・クリスタルホールにて四年ぶりに五回目の開催となりました。

参加人員は佐々木八郎先生含む六十名と前回より三名増で、午後三時半に集合し四十五分より記念写真、皆さん歳のせいとか、言いたい放題にお互いに冷やかしの撮影となりました(薄い者どうしのどちらもけがなく良かったです)。

再びホールに戻り、いよいよ開催(四時)。真壁君の名司会のもと、高沢同期生会長の挨拶、佐々木八郎先生の恩師挨拶、物故者紹介・黙祷と進み、高沢会長の乾杯の音頭にて始まり、祝宴はいつもと同じく想い出話や昨年の震災の状況を語り、お互

いに励ましたり励まされたり、また孫の話や、昔マドンナとの再会にトキメキタイムあり、余興では同期生の笠原君(三味線)、伊藤君(和太鼓)のコーラボレーションによる津軽三味線・和太鼓独奏・仙北荷方節と秋田荷方節メドレー等々会場は盛り上がりで、瞬く間に時間が過ぎてしまいました。

終わりに八軒中学校校歌を全員で斉唱し、東京から参加して頂いた伊藤恭子氏による伊達の一本締めで三時間の同期会は閉会となりました。

引き続き二次会会場へ移動して、三十九名で更に旧交をあため合いながら、二十三時頃にお開きとなりました。

(伊藤 久典)



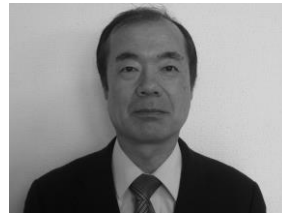
八軒41四ツ葉会

ごあいさつ

温かい御声援を・・

仙台市立八軒中学校

校長 小松 尚哉



東日本大震災から早くも二年が過ぎようとしていきます。未だ体験したことのないような混乱の中にも、人と人のつながりや思いやりが温かく感じられた体験でありました。

昨年四月、私は八軒中に赴任しました。新しい校長が来たことを伝え聞かれた地域や同窓生、かつて勤務した職員の方々が多く本校を訪れていただきました。そして皆様から、在校当時の様子や八軒中の歴史について丁寧に教えていただきました。

在校当時の思い出や懐かしさをお聞きする中で、共通していたことは、口々に八軒中への伝統や誇りを語られていたことで

した。そこに、母校を愛する心や今の生徒たちへの様々な期待が大きく寄せられていることを感じ、私自身も身が引き締まる思いでした。

現在も受け継がれている校訓「美しさ」「たくましさ」「つつましき」は、時代が移り変わってもなお求められる伝統だと思っています。

今の生徒たちにも、これを忘れることなく、卒業後も八軒中の同窓生として皆様と同じように心の中に常に伝統と誇りをもつてくれることを願わずにはいられません。

これからも同窓生の方々には、本校やこれから巣立っていく後輩への温かい御声援や御支援をぜひお願いしたいと思います。

あすがうんじゆきほ

教頭 千葉 伸治

昨年の六月と十一月に、第三回同窓生の方々（昭和二十五年卒）が来校され、校舎、体育館、

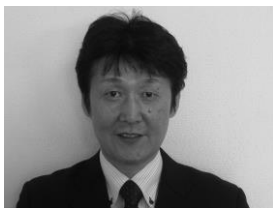
校庭で部活動をしている生徒の様子を見学してきました。生徒たちは大先輩方に会うと、「こんにちは！」と明るく元気に挨拶をしていました。大先輩方は、口々に「若い人たちがいるのはいいねえ。」「中学生から元気をもらうねえ。」と嬉しそうに微笑みながら話していました。

昨年四月に八軒中に赴任し、八年ぶりに学校現場に戻った私も、まさに同窓生の方々と同じ気持ちです。「学校はいいね。」「中学生はいいね。」率直にそう感じます。私がそれまで勤務していた行政の職場と違い、学校は毎日たくさんの生徒たちが登校し、活気に溢れています。季節に応じた行事があり、八軒中の生徒はいきいきと活動しています。学校では当たり前の日常なのですが、しばらく現場を離れていた私にとっては、その中に身を置くことができ、とてもうれしく思っています。

もちろん、良いことばかりではなく、難しい問題も起ります。中学生が四百六十人もいるのですから、それも当たり前のこと

です。そう覚悟はしていても、こちら側の気持ちが生徒の心に響かず、状況がなかなか改善されない時は、「どうしたらいいのか」と多いに悩みます。そんな時、力になるのは、保護者の方々や地域の方々の支援です。「先生も大変でしょうけど、応援しますから。」「最近、子供たちの挨拶がよくなったね。」などと言われると勇気が出ます。

人を教え、育てることは本当に簡単なことではありません。それだけにやりがいがあり、崇高な営みなのでしょう。教えているつもりが、子どもたちに教えられることも多々あります。今後子どもたちのために職員一同全力を尽くしますので、



同窓生の方々の変わらぬお力添えをお願いいたします。いつもありがとうございます。

在校生の活躍ぶり

《運動部》

第六十一回

仙台市中学校総合体育大会

① 剣道

男子 団体 一位

個人 一位、二位

② バレーボール 女子 二位

③ ソフトテニス

男子 団体 三位

個人 五位

女子 団体 三位

④ 陸上

男子 二年百M 五位

四種競技 七位

女子 走り幅跳び 五位

一年千五百M 十一位

二年百M 七位

⑤ 水泳

男子 百M背泳ぎ 五位

二百M背泳ぎ 六位

百M平泳ぎ 八位

四百M個人メドレー 八位

女子 二百M個人メドレー 二位

百M平泳ぎ 八位

四百Mメドレーリレー 五位

第六十一回

宮城県中学校総合体育大会

① 剣道

男子 団体 二位

個人 二位

② 水泳

男子 百M背泳ぎ 七位

二百M背泳ぎ 七位

女子 百M平泳ぎ 八位

第三十六回東北中学校剣道大会

男子 個人 五位

第二十二回仙台国際ハーフ

マラソン大会 二kmの部

中学女子 二位

《文化部》

① 吹奏楽

・全日本吹奏楽コンクール

第五十五回宮城県大会予選

仙台太白・宮城野・若林地区

大会 金賞

第五十四回宮城県大会

金賞・海鋒義美賞

第五十四回東北大会 金賞

・第二十七回宮城県管打楽器

ソロコンテスト中学生の部

オーボエ

金賞・県吹奏楽連盟会長賞

アルトサクソ

金賞・ヤマハ賞

② 合唱

・第七十九回NHK全国学校

音楽コンクール 金賞

宮城県大会

東北大会 銀賞

・第六十四回全日本合唱

コンクール

宮城県大会

金賞・宮城県知事賞

東北大会 銀賞

・TBC子ども音楽コンクール

宮城地区大会 優秀賞

《その他》

・第五十一回宮城県造形教育

作品展 入選

・第四十四回仙台市中学生徒

地図作品展

土地利用図

金賞・仙台市中学校社会科

研究会会長賞、

高度分布図

金賞・財団法人地図

センター理事長賞

銀賞

・第四十七回仙台市八木山動物

公園写生大会 佳作

・学校給食標語 優秀賞

《主な学校行事》

・三年修学旅行

東京・横浜・鎌倉方面

五月十五日～十七日

・二年野外活動 秋田・岩手

五月二十二日～二十四日

・一年校外学習 岩手

五月二十四日

・陸上カーニバル 七月六日

・文化発表会 九月一日

・校内合唱祭(名取市文化会館)

十一月五日

・同窓会入会式 三月八日

・第六十六回卒業式 三月九日



同窓会も参加した故郷復興プロジェクト

懐かしく、楽しく(二)

第十三回生(昭和三十五年卒)

平成二十四年十一月十一日、東京の清澄公園の涼亭で第十四回の同窓会(東京関係)に出席しました。

七年ぶりで十八名の出席があり、各自の近況報告がありました。その中で愛知県岡崎市に住む石垣(旧姓・樋渡)昭子さんより八軒中のコンサートが地元で開催されたという新聞記事について報告があり閲覧させていただきました。三時間の談笑で次の会の予定(古希を迎える二年後)を決め、散会しました。有志八名による二次会のカラオケでは八軒中の「あすという日が」を全員で歌い、お開きとしました。(原谷 収)

第二十七回生(昭和四十九年卒)

平成十一年に初めて開催した同期会も五回目。四年ぶりの開催で、「行きたい」という声は聞くものの、実際の参加者は少なく、ちよっぴり寂しい二十三名と恩師の小山美代子先生、片

桐睦夫先生の出席で、平成二十四年十一月三日、ホテル白萩において開催しました。

毎回最多参加者数を誇る四組、皆勤賞のYくん、Oくん、Dくん、初参加のOさん、Sくんなど、懐かしく、楽しいひとときを過ごしました。

クラス単位での近況報告の中で紹介した欠席者のメッセージから、関東在住者が結構いることに気が付いた四名が中心となつて、平成二十五年二月十六日、一蹉横浜店において関東地区同期会を開催しました。世話人十三名のこじんまりしたものでしたが、大いに盛り上がったこととです。(永田 淳子)



盛り上がった関東地区同期会

※ このほか、第七回生は年一回在仙の役員で集まっています。また、第五十六回生は平成二十四年八月十一日に、第六十回生は成人式の際に、それぞれ同期会を開催したとのことです。

各回生の動きを

お知らせください

同窓会では各回生との連絡を密にしていきたいと考えておりますが、窓口となる方がわからなくなっている期もあります。

幹事の自薦他薦、情報提供でも結構ですので、よろしくお願ひいたします。

また、「八軒つうしん」の中で、同級会や同期会の様子をお伝えしていきたいと思っております、こちらも情報提供をお待ちしております。

提出先等

① 手書きの場合(郵送)

〒九八四一〇八一四 仙台市若林区南染師町二〇一―一〇五
直野 まり あて

※郵送料はご負担ください。

② テキスト又はワード(電子ファイル)若しくはメールアドレス打ちの場合(メール)
naononari@h9.dion.ne.jp

③ 写真がありましたら、お貸しくください。可能な限り電子ファイル化してご提供ください。

※ 掲載に当たって、執筆者の敬称は略させていただきます。ご了承ください。

編集後記

何とか発行日に間に合わせましたが、相変わらず綱渡りの編集作業となつてしまいました。

八軒つうしん第八号

発行日

平成二十五(二〇一三)年

三月二日発行

発行者 八軒中同窓会事務局

〒九八四一〇八二七

仙台市若林区南小泉八軒

小路九一―

仙台市立八軒中学校気付